

9月27～28日、「5+2」者非公式協議(於ウィーン)

9月28日、ギンブ大統領代行による議会解散の大統領令への署名、期限前議会選挙実施日の宣言

9月30日、非公式「モルドバ・フレンズ」グループ第3回会合

A. 主な動き

1. 内政

議会・政党等の動き

- ・27日、自由党は、ギンブ大統領代行を同党党首に再選、キルトアケ・キシノウ市長、シャルル運輸道路インフラ相及びハダルカ議員を副党首に選出。
- ・27日、議会外政党7党は、次回大統領選挙における再度の大統領選出失敗を防ぐため、政党に所属していない大統領を選出させるべきとの共同協定に署名。
- ・27日、フィラト首相は、A EI内の合意を得ずに来年度予算案修正案を閣議に提出。その後のA EI会議において、自由民主党以外のA EI所属各党は、フィラト首相の政策は期限前議会選挙に向けた自党PRであると批判。これを受け、自由民主党各議員は同会議を途中退出。
- ・30日、ウレキャン「我々のモルドバ同盟」(A EI所属)党首は、自由民主党が期限前議会選挙後に共産党と連立を組む可能性を探っているとの見解を公表。

28日、ギンブ大統領代行による議会解散の大統領令への署名、期限前議会選挙実施日の宣言

- ・28日、ギンブ大統領代行は、議会解散の大統領令に署名、期限前議会選挙を11月28日に実施することを宣言。同大統領代行は、期限前議会選挙後に新たな議会議長が選出されるまで大統領代行を務めることになる旨と発言。
- ・29日、正式に議会は解散。中央選挙管理委員会は、10月4日より期限前議会選挙に参加を希望する政党及び無所属議員の登録を開始すると発表。
- ・30日、A EI所属各党党首は、A EIは期限前議会選挙後も存在し続ける旨の声明を発表。民主党は、期限前議会選挙に同党は単独で参加する意向を改めて表明。

ヴォローニン前大統領の議員資格にかかる動き

- ・25日、ギンブ大統領代行は、ヴォローニン前大統領の議員資格剥奪は不可避であると発言。
- ・27日、議会法務委員会は、同日実施が予定されていた検事総長の要求によるヴォローニン前大統領及びポブショイ共産党議員の議員資格剥奪にかかる審議を延期。

2. 沿ドニエストル

- ▼27～28日、「5+2」者非公式協議(於ウィーン)
- ・協議開会にあたり、オシポフ沿ドニエストル問題担当副首相は、「5+2」者公式協議を再開するためのあらゆる条件が

整ったとし、本年末までの公式協議再開を提案。

- ・参加者は、近日中に「5+2」及びその他のフォーマットで信頼醸成措置をとることで合意。
- ・オシポフ沿ドニエストル問題担当副首相は、解決交渉プロセスにおいてオブザーバーであるEU及び米が露、ウクライナ及びOSCEと並び仲介者となるべきと発言。
- ・ヤストレブチャク沿ドニエストル「外相」は、「5+2」者協議及びその他の協議の形式は合意文書により規定されており、変更にあたっては全参加者の合意が必要とコメント。
- ・1日、ヤストレブチャク沿ドニエストル「外相」は、10月7～8日にキシノウ及びティラスポリにおいて沿ドニエストル問題解決保障にかかる国際セミナーが開催されると発表。

▼その他

- ・25日、オシポフ沿ドニエストル問題担当副首相は、ブルクホルダーEUBAM代表と会談、モルドバの関税制度、キシノウ・オデッサ間の鉄道運行再開等につき協議。ブルクホルダー代表は、モルドバ及び沿ドニエストルの関税職員とEUBAMの三者による会合、学生向けのサマー・スクールといった信頼醸成措置につき説明。
- ・27日、ヴォローニン前大統領は、モルドバが沿ドニエストル問題を解決する意思があるならば、経済的のみならず政治的な意味合いも持つ露、カザフスタン及びベラルーシの関税同盟に加盟すべきと発言。
- ・27日、EUは沿ドニエストル高官への査証発給禁止措置を一年間(2012年9月30日まで)延長する決定を採択すると同時に、沿ドニエストル問題の解決を促進するため、同決定の半年間(2012年3月31日まで)の中止決定も採択。
- ・30日、フィラト首相とスミルノフ沿ドニエストル「大統領」は、サッカー観戦中にモルドバ・沿ドニエストル間の固定電話による通話を再開することで合意。
- ・1日、キシノウ・オデッサ間のディーゼル鉄道の運行が再開。

3. 経済

対モルドバ支援

- ・28日、ルフト駐モルドバ・ポーランド大使は、モルドバの今夏の洪水被害に対して10万ユーロを同国に供与すると発表。
- ・25日、ミルドエフIMF駐モルドバ代表は、モルドバ経済は

IMFの2009年秋の予測よりも早いペースで成長しており、公式予想は示されていないものの、2010年のGDP成長率は3%を超える見通しと発言。また、本年10月に予定されていたキシナウへのIMFミッション派遣は、選挙を考慮し、来年第1四半期に延期する予定とも発言。

モルドバ産ワイン問題

・27日、オニシチェンコ露消費者権利保護・福祉監督庁長官は、露へのワイン輸出が認められるモルドバ業者リストを従来の46から53に増加させた、モルドバにおいて輸出ワインの品質向上措置が取られていると発言。

4 . 外政

▼30日、非公式「モルドバ・フレンズ」グループ第3回会合

・同会合には、9名の外相を含む24カ国の代表が参加。レアンカ外務欧州統合相は、会合開催中の3日間、キシナウが欧州の首都であったとコメント。

・ギンプ大統領代行は、フィーレEU拡大・欧州近隣政策委員と会談。フィーレ委員は、2010年がモルドバ・EU間の協力の年と評価。ギンプ大統領代行は、11月28日の期限前議会選挙後も対EU対話が継続されると言明。

・フィラト首相は、フィーレ委員と会談。AEI政権の一年に亘る活動を協議。フィラト首相は、EUの恒常的な支援に感謝の意を表明。フィーレ委員は、連合協定、FTA創設協定及び査証自由化交渉の枠組みにおけるモルドバ側の成果に言及、この一年を成功の年と評価。

・フィラト首相とフィーレ委員は、欧州プログラム参加にかかるパートナーシップ及び協力協定への追加議定書に署名。レアンカ外務欧州統合相とシュワルツェンベルグ・チェコ外相は、欧州統合分野における協力メモランダムに署名。

▼その他

・1日、在モルドバ・スウェーデン大使館が開設。

B . その他の動き

10 / 1 (金)

・ギンプ大統領代行は、ブルボアカ訓練場において演習

「Turn-2010」を視察。本演習には、軍人約500名と戦闘車両52両が参加。

本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)